

# P・M・Aクラブ

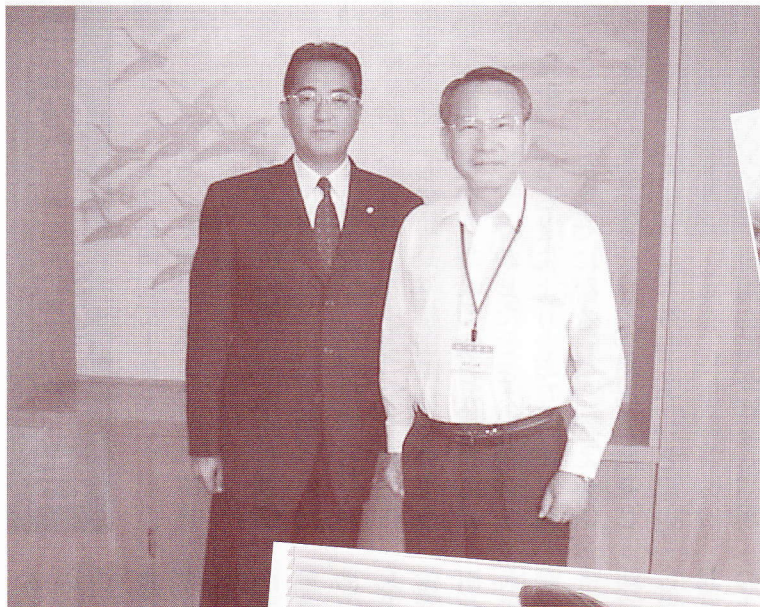
Positive.Mental.Attitude

✉ ptcle@giga.ocn.ne.jp

## しおた文男後援会

発行日/平成17年11月  
住 所/築上郡椎田町大字椎田1671-1  
発行責任者/高島 虎止  
T E L /0930-57-5555

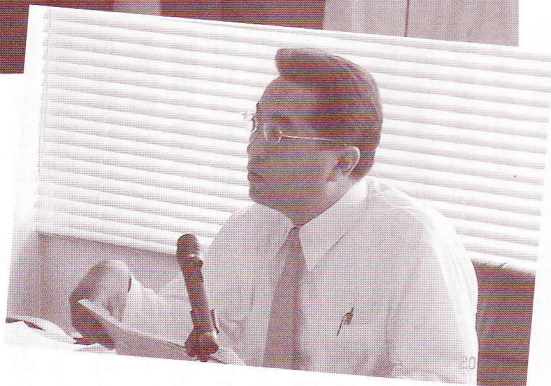
### Vol.5



中津市長訪問



第2回豊前東芝エレクトロニクス(株)秋祭り  
田中敏明社長と一緒に! (H17.10.8)



しおた文男オフィシャルホームページ  
H18年3月頃開設予定!  
<http://shiotafumio.com>

すっかり秋めいてまいりま  
したが、皆様にはますます  
ご清栄のこととお喜び申し  
上げます。  
さて、先般の衆議院の郵政解  
散による選挙は自民党が圧  
勝しました。地方においても  
菊田町の町長選を始め行橋  
の市長選、合併にともなうみ  
やこ町、そして我が町の新町、  
築上町の町長選挙と来年に  
かけてまさに選挙が目白お  
しの状況になります。町議と  
しての立場から新町の首長  
を選ぶにあたって合併後の  
議会運営と密接に関わって  
くる重要なことであること  
は言うまでもありません。  
そこで町民の皆様と共に考



ごあいさつ

しおた文男

えなければならぬ新町の  
町長候補については現時点  
ではすでに新川町長、有本町  
長が出馬表明していますが、  
町民の皆様のご期待としては  
新たな候補者の期待感も大  
いにあるようです。その思い  
を推察するに両候補が今ま  
で住民無視の身勝手な行政  
をやってきたからではない  
でしょうか。合併においても  
両候補はドタバタの末に一  
週間足らずで強引に合併調  
印をする有様で常識では考  
えられません。いずれにして  
も合併後のビジョンを具体  
的に示し、政策として確実に  
実行していく首長が望まれ  
ます。また合併による2町の  
対立構図だけは絶対になく  
すべきでしょう。  
町議としてこの現実をいか  
に打開するかを真剣に考え、  
皆様の期待にそえるよう頑  
張ってまいります。今後とも  
宜しくお願致します。

# しおた文男の議員活動報告

平成17年9月15日(木)

## 一般質問

### 町長の政治姿勢

(塩田文男)

昭和三十年4村合併により、この椎田町ができて、今年には合併五十周年を迎え、そして今回新川町長最後の椎田町としての町長になるわけで、来年からは築上町という形に変わってまいります。

その昭和30年からのことを言うわけじゃないですけど、町長が椎田町の最後のという言い方、椎田町が最後になるわけじゃないんですが、最後の町長の総括といいますか、お聞かせいただきたいと思っております。

(新川町長)

一概に総括って言っても、なかなか難しゅうございますけれども、基本的に私は合併に始まって合併に終わったというふうな総括をせざるを得ないかなと、このように考えております。

(塩田文男)

はい、ありがとうございます。合併に始まって合併に終わる、本当にわかりやすくというか、

どこの町村でも使える言葉だろうと思いましたが、町長は先日、臨時議会におきまして、来年合併の築上町の町長選挙に出馬すると出馬表明をいたしました。

6月議会の際に、私は合併して町長は椎田町にどのような得を与えることができるのかお尋ねしたところ、「合併することにより、お互いの町民が幸せになる」とお答えをいただきました。出馬表明をした町長にお尋ねしたいと思います。

この築上町の町長選挙は、現在築城町の有本町長そして新川町長の2人の戦いとなった場合、私は一議員として2つの自分なりの大儀を考えております。1つは、椎田町のことがよくわかる、椎田町から出られる方を指示するのか、またもう一つは、やはり合併という大きな課題の中で一つの自治体になっていくわけですから、本当に候補者の考えを吟味して、ふさわしい方を支持するのかが、今検討しているところですが、こそこそ町長に聞くわけにもいきませんので、この本会議の席で築上町

の町長選出馬するに当たっての町長のマニフェストを教えてくださいたいと思います。

(新川町長)

マニフェストというか、この本議会で私は答えるべきでなからうし、近い将来自分の政策発表をいたしますんで、そのときに皆さんにはお知らせしたいと思っております。

(塩田文男)

町長の回答なんで、それはそれで触れるつもりはないですが、本来私の考えとしては、やはり出馬する目的、出馬する決意というのは、出馬表明をした時点で考えがいつているんじゃないかなと、自分ではそのような思っています。

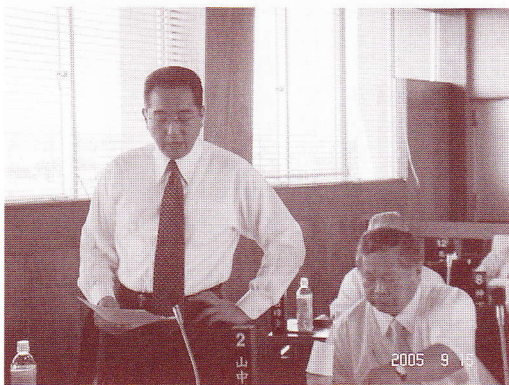
一言頂きたかったなと言う所ですが、その件につきましては町長の考えで、ここで触れるつもりはございません。ただ、築上町のこれ新聞に出てたんですが、建設計画が平成十八年から平成二十七年の十年間で、普通建設事業174億円という形で試算されておりまして、新町建設に当たって「快適な生活の場、助け合い支え合う生活の場、魅力ある生活の場づくりの3つを基本目標に定め、活力とにぎわいのある地域の生活文化拠点の形成を目指す」という形の中



で、ここにありとあらゆるいろんな土地計画、また道路、市街地、そういった施策の箇所箇所には、いわゆるいろんな諸問題、内情、地域の問題といろんな問題がこの中に出てくるわけで、防災、消防、学校教育等にしても、余り触れられないと。地域防災、地山治水事業ですか、あと小学校の整備等ぐらいいしか出されておられません。

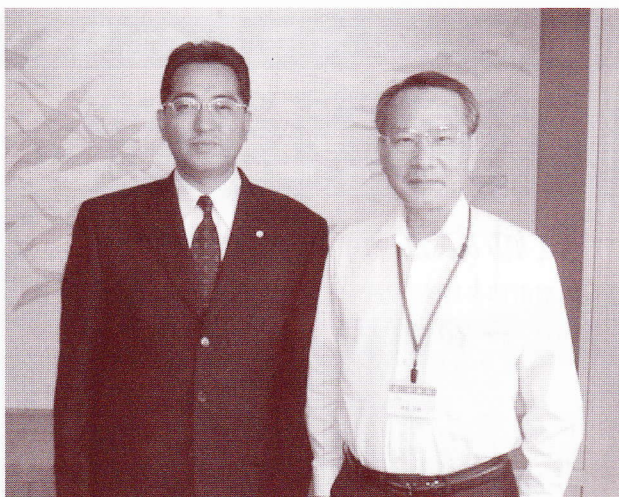
現在、防災につきましては、先ほどの話と同じように、やはり今後近隣に企業が来るという中で、いろんな方が町外から住まわれてくる中では、私たちが椎田町に住んでいるから、住めば都という考えだけじゃなくて、よその人が椎田

にきたいという形の施策、以前から何度も言ってますが、防犯灯とか不審者、またそういったパトロールの実施、すべてお金がない。そういう細かいところをやはり考えれば幾つでもあるので、これを今町長にお答えしてもらおうとは思っておりませんけども、立候補した理由というのは、私は先日聞いた中では、犀川町の告示のときに、築城町長から出馬すると言われて、なんか私もじゃあ出馬したというふうな見解しか聞こえませんでした。そういった出馬を決意したときに何を考えたのか、そういうところが聞けなくて非常に残念でした。これで私の質議を終わります。



# 新貝正勝中津市長との対談

## 身近な先進地中津市の合併、企業誘致、その手法を聞く



(塩田文男)

中津市にはダイハツ自動車・荻田町には日産自動車、トヨタ自動車エンジン工場が進出して参りました。今後ダイハツ関連企業が進出する中、地理的に両企業進出の中心に位置する椎田町としては現在企業誘致または住居誘致等に力を注いでいるところです。そこで、新貝市長に現在及び今後の関連企業の状況等教えて頂けませんか。

(新貝市長) 現在、中津市にはダイハツ関連企業として、(株)シーゲル、富双シート(株)、青木運輸倉庫(株)が進出しており、昨年末より操業を始めています。今年2月には、葵機械工業株式会社が進出を表明し、現在ダイハツ車体の敷地内に工場を建設中です。操業は、今年の12月の予定です。

ダイハツ車体においても、年産20万台のための増設を行う予定です。それに伴い、(株)シーゲルは、既存工場の西側に2棟増設しています。富双シート(株)については、既存工場の南側にポリウレタンシート製造工場を建設しています。さらに、青木運輸倉庫(株)につきましても、中津港物流用地内に物流拠点の倉庫を建設しています。現在のところ、新たな進出企業の情報はありませんが、将来ダイハツ車体の車種増設も検討されており、新たな関連企業の進出も考えられると思われま

(塩田文男)

椎田町はご存知の通り紆余曲折の中、来年1月に築城町と合併し築城町となります。中津市は三光村・本耶馬溪町・耶馬溪町・山国町と合併し人口8万6千人の市になったわけですが、中津市では比較的にスムーズに合併が出来たと聞いています。これはひとえに新貝市長の手腕と思えますが、合併する時に何が一番大事か？どのように進めてこられたのか？また新貝市長は今後、新市として中津市の将来ビジョンを教えてください。

(新貝市長)

合併した5市町村は、山国川流域に属しており、農業用水や飲料水として山国川の水利用を行っていたことや、昭和50年に廃止されるまで60数年にわたり、耶馬溪線による交流が行われ、古くから歴史的、文化的な面において、つながりの強い地域でありました。また、近年では昭和46年に5市町村で「中津下毛地域広域市町村圏事務組合」を設置し、以来、各種計画の策定を始め、消防・救急や介護保険の認定事務の共同処理など、地域共通の課題に連携して対応してきました。さらに中津日田地

域高規格道路の建設促進や光ファイバ網の敷設などにより、その結びつきがより強固になっていました。

- ① 福祉の里づくり
- ② スポーツ振興
- ③ 城下町の風情を持ったまちづくり
- ④ 身近な生活道路の整備促進

合併する時に何が大事かということですが、5市町村とも昭和の合併から約50年間実施してきました行政運営を尊重することが重要であると考え、合併協議においては人口や予算規模の大小に関係なく対等の気持ちで協議を行ってきました。ただ、景気の低迷及び国の三位一体改革による影響で今後は益々財政が厳しくなつてきます。従いまして、これまで市町村が独自で実施してきました事業についても廃止する方向で検討することが当然に発生するわけですが、真摯に協議し、その決定されたことを、住民に十分説明し理解してもらうことが重要でないかと思

私は、合併したことにより、中心部だけでなく市域全体が発展していくことが重要であると考えています。そこで、新市建設計画において「山国川の「みず」と耶馬の「もり」のめぐみを受け、「ひと」が育ち、癒され、たゆみなく「もの」が生まれ、「人」にやさしい「新しいまち」なかつ」を将来像としています。

その達成のため、4つの基本目標と10の施策方針を定め、新しい中津市の「まちづくり」を実行していきたいと考えています。具体的には、

# 今昔・中津街道

## 負けぬが勝ち

古代最古の国際商業都市博多!!様々な時代をしたたかに、しなやかに生き抜いてきた商人達の足跡や冒険心、ロマン商いに生きる魂、何か大切なものを置き去りにしてきていないでしょうか。



昭和47年12月 商工祭

「♪もうう〜いくつ寝ると〜お正月〜♪」と楽しみにしていた子供の頃、もう一つの楽しみが、年末行なわれる「商工祭」。皆さん昭和四十年頃から五十年頃の商工祭覚えていますか？  
私は父から「椎田へ行けば何でも揃う」ということで豊前市や築上東部また行橋市京都郡から沢山の買い物客が来られていたと言う事を思い出しました。現在でいうデイスカウトショップ的な町だったのでしょうか？  
当時、商工祭・産業祭・農業祭

### 商工祭しょうこうまつい

明治100周年記念

築上名物 椎田商工祭 12月16日・25日

**商工祭大売出し**

御買上げ100円毎に補助券一枚進呈  
5枚で抽せんができます

**景品** 家具・自転車・水屋  
その他豪華な景品が当たる

期間中の催しもの

25日	24日	23日	22日	21日	20日	19日	18日
10:00-12:00 大衆演劇「お七」	10:00-12:00 大衆演劇「お七」	10:00-12:00 大衆演劇「お七」	10:00-12:00 大衆演劇「お七」	10:00-12:00 大衆演劇「お七」	10:00-12:00 大衆演劇「お七」	10:00-12:00 大衆演劇「お七」	10:00-12:00 大衆演劇「お七」
13:00-15:00 大衆演劇「お七」	13:00-15:00 大衆演劇「お七」	13:00-15:00 大衆演劇「お七」	13:00-15:00 大衆演劇「お七」	13:00-15:00 大衆演劇「お七」	13:00-15:00 大衆演劇「お七」	13:00-15:00 大衆演劇「お七」	13:00-15:00 大衆演劇「お七」
16:00-18:00 大衆演劇「お七」	16:00-18:00 大衆演劇「お七」	16:00-18:00 大衆演劇「お七」	16:00-18:00 大衆演劇「お七」	16:00-18:00 大衆演劇「お七」	16:00-18:00 大衆演劇「お七」	16:00-18:00 大衆演劇「お七」	16:00-18:00 大衆演劇「お七」

椎田町商工会

昭和40年頃の商工祭のチラシ

と色々ありまして、当時は築上名物と言って築上郡方々から来られ椎田商工祭として取り組んでいたようです。場所は今の椎田町役場から中津街道へ入り東町のめぐみ幼稚園前辺りまで、勿論駅前通りも沢山の露店商が店を出し昭和四十七年頃は、「あわ踊り」・昭和四十九年頃は仮装行列を行い商工会の青年部や婦人部また飛び入り参加自由でお披露目巡行し、一時を風靡し楽しませてくれたようです。また当時は学校もお昼で帰っていたようです。

遠くまで連なる露天には、たこ焼き・綿飴・型抜き・円盤の針を回すような物や飴でできた猫の置物をひもで引き上げるもの、パチンコの原型みたいな物や数種類のくじ引き・七味唐辛子売り・お面に玩具・子供心に思い起こせば、どれもこれも欲しいものばかりでした。  
昭和二十年代後半の知人に聞いた話では、その頃の小遣いは二十円から五十円程で、たこ焼きも串に4ヶ刺さって十円・型抜きも十円の時代だったそうです。  
笑い話として、当りの箸を引き当てるくじで売り子が当りくじを引き当てて見せると残りに当りが無くなることを見抜いた為に家まで追いかけられた事など：色も多かつたそうです。  
しかし何はともかく楽しく胸躍らせるお祭りだった事は事実だったようです。  
たなびくのぼりや暖簾を視野に入れながら何度も往復

**編集後記**  
新聞づくりも回を重ねるごとに皆様からの色々なご意見ご感想をいただき大変感謝しております。紙面の内容についてマンガを入れたらどうか、もっとやわらかいイメージに、など今後の参考にすべきものばかりです。町議としての活動報告に加え皆様の楽しめる紙面づくりを考えてまいります。(S)



昭和49年12月21日 商工祭

する気分は、今風に言うとうインドショッピングとデパートの地下食料品売り場を廻っている雰囲気ゲームコーナーをプラスした様相だったそうです。  
待ち望んだ時間も、あつという間の数日間が過ぎると慌しく正月の準備、産業祭・商工祭は毎年待ち遠しい行事のひとつでした。